

事務事業名		高齢者火災警報器給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳 利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4846	一般	3	1	3	高齢者火災警報器給付事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者火災警報器給付事業実施要綱		実施方法		一部委託	
	事業区分		事業分類		現金・現物給付事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		2-9								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
在宅の低所得者の要介護高齢者及び一人暮らしの高齢者に対し、火災警報器を給付することにより、福祉の増進を図るため、申請受付・内容審査を行い、決定通知・事業依頼通知を送付し、事業者と連絡調整を行い給付する。		在宅の低所得者の要介護高齢者及び一人暮らしの高齢者に対し、火災警報器を給付することにより、福祉の増進を図った。						
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
火災警報器設置者数		人	5	10	10			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
心身機能の低下に伴い、防火等の配慮が必要な低所得の要介護高齢者		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
65歳以上高齢者数		人	31,140	32,923	34,706			
要介護高齢者数		人	5,805	5,978	6,281			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
火災予防の推進を図り、高齢者の生活の安全を確保する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
要介護認定高齢者数の割合		%	18.6	18.2	18.1			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
自立した在宅生活をしてもらう。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
在宅福祉サービス利用者数		人	1,526	6,934	7,000			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	24	65	142							
	事業費計(A)	千円	24	65	142	0	0					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			日常生活用具給付費	24	日常生活用具給付費	65	日常生活用具給付費	142				
	人件費	人	1	1	1							
	のべ業務時間	時間	40	40	40							
人件費計(B)	千円	156	158	158	0	0						
トータルコスト(A)+(B)	千円	180	223	300	0	0						

事務事業名	高齢者火災警報器給付事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成17年度より合併により旧田沼町・葛生町で実施していた事業を継続。当初は火災警報器・電磁調理器・自動消火器の日常生活用具の給付であったが、平成18年度から火災警報器だけに改正された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成21年5月から各家庭への火災警報器の設置が義務付けられた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	火災警報器設置を促すよう市民への啓発を行い、未設置者へは指導を行うよう要望がある。 平成26年度の外部評価委員会にて、低所得高齢者の安全を守るため対象者が無くなるまで事業を継続すべきであり、そのためには、さらなる住宅用火災警報器の設置義務について周知を行う必要があると指摘された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 この事業を通して、防火等の配慮が必要な要介護高齢者に火災警報器を給付することは火災予防の推進を図るため必要なものであり、その結果安心した在宅生活が送れるようにするものであり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 防火等の配慮が必要な低所得の要介護高齢者に対し、火災警報器を給付し火災予防の推進を図るとともに、高齢者の生活の安全を確保することは、自治体の責務であり民間等に委ねることはできない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業は、防火等の配慮が必要な要介護高齢者の防火予防の推進のため実施している事業であり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 外部評価委員会の指摘を受けて、住宅用火災警報器の設置普及の所管課である消防本部予防課と協力して、住宅用火災警報器設置の周知及び当給付事業をPRするチラシを作成し、高齢者の相談を受ける機会の多い地域包括支援センターに持参して事業のPRを行ったため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費の主なものは、火災警報器の購入に対する費用であり、事業費を削減する余地はない。人件費は、必要最小限の人数で対応しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 低所得の要介護高齢者に対する事業のため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	高齢者の生活安全確保のための事業であり、休止・廃止はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			